



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2015

1月20日号

144
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024 (659)1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

年頭所感



会長 齋藤 康雄

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

夢と希望に満ちた新年を迎えられたことと存じます。昨年、本会の事業につきまして皆様方のご協力のもと、計画されている事業を概ね遂行することができました。感謝申し上げます。本年も変わらぬご協力いただきながら事業に取り組む所存です。よろしくお願い申し上げます。

さて、東日本大震災による原発事故の被害から4年になろうとしていますが、福島県は未だに12万余名が避難をしています。放射線被ばくに対する不安を抱いている方も少なくありません。機会があればこれまでと変わりなく県民の皆様へ寄り添い、その不安に向き合って使命を果たしていく所存です。除染が進み、放射性廃棄物の入った黒い袋（フレコンバック）が山積みになっている光景も無くなって、各々が納得できる数値まで被ばく線量が下がった生活環境を、一日も早く取り戻せることを願っています。

東日本大震災以後初めての原子力災害住民避難訓練が、昨年11月に行われました。本会は避難経路上での住民の方々のスクリーニングを担当しました。今回の訓練は先の原子力災害の教訓から学んだものを訓練内容に生かすと言うことで、詳細なシナリオは無く各機関が果たすべき役割を検討の上訓練に望むことを要請され、本会はスクリーニングの方法や必要備品等を検討して事前演習も行い訓練に臨みました。3.11の発災時に活動していた経験を生かして概ね使命を果たすことができましたが、反省点も多々あり次回の訓練に生かしていきたいと考えています。訓練会場で住民の方々が長い列を作り順番を待つ姿を見た時、震災当時のことが鮮明に蘇り、あのような理不尽な事故は二度と起こしてはならないと改めて痛感しました。27年度以降も継続して実施されますので、是非参加協力をお願いいたします。

福島県は、充足が進まない医療従事者不足を解消するために、平成25年12月にまとめた保健医療従事者の確保に関する検討会の報告を受け、昨年末に医療従事者養成をするための検討有識者会議を立ち上げ、私もメンバーとして参画することになりました。不足している診療放射線技師、理学療法士、作業療法士等を永続的に確保していくには養成所を作るのも一つの方法であるとして、今年の7月までに意見をとりまとめるための検討を始めました。まだ白紙状態ですが、もし大学等の養成施設ができることになれば、診療放射線技師の養成のみならず、福島県の放射線医療技術の向上に大きく寄与するものと思われます。今後の動向に関心を寄せていただきたいと思います。また、昨年度の検討会では修学資金制度も検討されて現状に合わせて増額されました。福島県及び当会のホームページで公告していますので、是非活用するよう働きかけをお願いいたします。

今年も、公益社団法人としての目的達成に向けて、会員のスキルアップを図り、チーム医療を推進し社会に貢献すべく責任を果たしていく所存です。ご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成26年度福島県原子力防災 住民避難訓練に係るスクリーニング



福島県からの要請を受けて平成26年度福島県原子力防災住民避難訓練が11月20日、22日に実施され、福島県診療放射線技師会から、齋藤会長をはじめ総勢23名の会員が22日に避難住民へのスクリーニング訓練に参加した。この訓練には田村市都路町の住民の方々も多数参加され、福島県浜通りを震源とした震度6強の地震を観測し、双葉町、大熊町、富岡町、楡葉町及び川内村に避難指示が出された想定して行われた。20日には緊急時通信連絡訓練が実施され、県より齋藤会長に連絡が入り携帯電話を使って県技師会理事に緊急連絡の一斉送信が行われ連絡網が確認された。

都路町の避難場所は郡山市に設定されているため、今回は安積公民館安積分室と古道体育館を郡山の避難所と想定、医療中継地点として古道小学校体育館が設定された。我々、福島県診療放射線技師会にはそれぞれの避難所と医療中継地点での住民スクリーニングが依頼され、スクリーニング人数は安積公民館で20数名、郡山市内に見立てた古道体育館に200名強、医療中継地点には負傷した住民10名に対してGMサーベイメーターを使用しているスクリーニング訓練となった。放射線技師2名と記録係の事務官1名がチームとなり、1人の方を前側と後側を同時に測るセグメント方式を採用して行われた。安積分室と医療中継地点にはそれぞれ2チーム、古道体育館は7チーム配置された。訓練ではあるが、安積分室では会場設営から行ったが、古道体育館では県の地域医療課が住民の流れも考えて前日に設営しており、訓練でも会場設営から行うべきであろうと考える。

GMサーベイメーター及びポケット線量計は保有台数の制約から地域医療課と福島医大病院の測定器を使用した。

現地集合が8時30分のため福島を6時30分に出発したが、途中気温が3℃で寒さ対策が懸念されたが、避難所

ではタイベックス、靴カバー、マスク、手袋を着用しているため寒さは感じなかったし、陽が高くなるにつれて暖かくなった。測定対象者が多いと待ち時間も長いため、測定のために並んでいる住民の方々がだんだん前に進んでくるためにスクリーナーも、徐々に前に押し出される状態となった。13時には訓練終了となったが、下記の点が反省点としてあげられる。

- ・県から看護協会や薬剤師会等、他職種への協力体制が取られていないために個人的な参加となってしまい、他職種との連携が絶対必要である。
- ・移動に使用されたバスや自家用車等の測定・除染が全くなされておらず、移動車両用測定ゲートの設置・除染訓練の実施が必要。
- ・訓練とは言え、スクリーニングでは全員がND状態であるため、模擬線源を持って頂き、測定によるトリージと除染を訓練として行う必要がある。
- ・他避難所との状況確認をする係がおらず会長に状況報告し判断を仰ぐような体制作りが必要と思われた。
- ・今回は2名のスクリーナーが前側・後側を同時にセグメント方式で測定したために1人当たりの測定時間が2分程度で測定が出来た。
- ・定期的に訓練を行う事でGMサーベイの取り扱い方・セグメント方式の習得を多数の会員に周知して貰いたい。

他にもやってみて初めて分かる事が多々あった。非常に良い機会を頂いたと思うし、今後も福島県診療放射線技師会が積極的に参加する事で、県との関係強化に努めていかなければならない。



平成26年度第3回理事会議事録

日 時：平成26年12月5日 14時～16時30分
場 所：福島県立医科大学附属病院放射線部
カンファランス室

出席理事：齋藤康雄、遊佐 烈、新里昌一、佐藤政春、
平井和子、白川義廣、堀江常満

佐藤孝則、白石嘉博、菅野和之、村上 薫

指名出席：伊藤陸郎事務局長、阿部郁明事務局員

出席監事：片倉俊彦

欠席理事：水沼利夫、秋山淳一・佐藤佳晴、山田隆弘

欠席監事：高橋宏和

議長には定款により齋藤会長が就任し、議事記録者に
村上 薫理事を指名し議事に入る。

I 会長挨拶

II 議 事：

1. 平成26年度事業報告と今後の予定について

・会長から平成26年度会務経過報告（別紙）が示された。
各委員会と地区協議会委員長等からの追記・訂正を求めた。追加等がある場合がメール等で知らせて貰うこととした。

・会長から、9月～11月までの代表理事活動報告があった。（別紙）

委員会報告・地区協議会報告

精度管理委員会（佐藤政春委員長）

・先に渡してある平成26年度精度管理委員会活動計画の年内予定は終了した。福島県診療放射線技師会学術大会で報告した内容はHPに掲載する。

調査委員会（白川副委員長）

調査委員会で実施したアンケート結果報告は、会報発行に間に合うようまとめて載せる。

学術委員会（新里委員長）

・10月に第4回東北放射線医療技術学術大会（新潟市）、11月に福島県診療放射線技師学術大会を行った。

・学術奨励賞、学術奨励新人賞を発表する。

・福島県診療放射線技師学術大会を開催した中で、非会員が20名参加していたことや、前抄録の提出も結果は当日報告するなど結果が掲載されていないなどの問題が出て、事前審査で内容を確認するなどの対応を学術委員会で検討することとした。

生涯教育委員会（堀江委員長）

・来年2月15日 基礎講習 MRIを開催する。募集は50名、福島県診療放射線技師会のHPに案内を掲載する。申し込みはJART情報システムにて行うようになる。

・福島県診療放射線技師会会員カードは来週中に発送予定である。

財務委員会（阿部事務局員）

・平成26年度予算執行状況にて12月3日現在の報告があった。

・24年度の会費未納者5名、25年会費未納者20名、26

年度については未納者リストの通りで、137名いる。年内納入の督促をお願いする。24年度未納者の確認、対応は後の議題で検討する。

ネットワーク委員会（菅野委員長）

・10月25日 太田西の内病院にて委員会開催した。別紙で報告。

1. HPリニューアルの報告、

2. HPアクセス解析、

3. 各種委員会ML及び地区協議会MLの運用状況

4. HP運用後継者問題について

探したが見つからない。そのまま継続して個人に担当していただくのも負担が大きい。外注も考えたが金銭的な負担が大きく現実的でない。そこで継続的に担当して貰うために謝礼金・手当等を考えているがどのようにすれば良いか検討した。

恒常的に運営して行くには時間もかけて更新していかなければならないので何らかの形で手当等の措置は必要と思われる。謝礼金を出す方向で検討したい。方法・金額等については総務企画委員会で検討し理事会に諮り平成27年度から施行する方向で進めることで承認された。

5. HPの被ばく線量のページについて

先にHPを見た方から被ばく線量についての問い合わせがあり、調べたところ掲載の元になったデータ内容が間違っていた。そのことを受けて掲載の是非について協議した。

他の都道府県のHPでも具体的に数値を載せているところはほとんど無い。施設や装置によって違いが大きい。HPに掲載している被ばく線量は、日本診療放射線技師会のガイドラインであり実際の被ばく線量とは異なることなどから、被ばく線量の表示を廃止して、被ばくに関してはQ&Aにて対応することが承認された。

6. HPの個人情報保護について

当会には個人情報保護に関しての規程が無いことから、作成することが提案された。条文案は菅野委員長が作成し、2月の執行部会で検討し3月の理事会に諮ることで承認された。

7. 求人案内のページについて

調査しているが本ページへのアクセスが多い。現在2件の掲載があるが、年度採用予定などの情報も掲載するなど、活用を促進したい。

編集広報委員会（平井委員長）

会報発行記事依頼を受けた者は遅滞なく期限内提出をお願いする。

福放技ニュース巻頭言は、1月号齋藤会長、3月

号は遊佐副会長の担当となる。

地区委員会

県北地区協議会・県南地区協議会・会津地区協議会
は特に報告事項は無い。

浜通り地区協議会：相双地区において欠員であった地区協議会新委員2名を承認した。

平成27年度事業・財務執行状況について

・事業執行状況については各委員会・地区協議会報告等で報告されているが未執行事業があれば予算化されているので年度内執行をお願いする。

・新潟で開催された東北放射線医療技術学術大会で、発表・座長等をされた方への学術奨励金の付与について未執行の地区があれば早急に行って貰いたい。(実施により地区の運営資金が不足するようであれば県の事務局へ請求してもらいたい)

平成27年度表彰候補者推薦について

日本診療放射線技師会勤続30年表彰者については、有資格者9名について本人に確認を行い次の5名について推薦した。

会津地区 金田昭二、渡部和男

県南地区 増子健人

県北地区 安斎幹夫 林王明美

勤続50年表彰者 該当無し

県知事表彰・叙勲：該当者無し

・前回の理事会で推薦を決めた今野英麻呂さんの日本診療放射線技師会功労賞は、福島県診療放射線技師会功労賞を授与していなかったため、平成27年度に授与してから、平成28年度表彰者として推薦することとを執行部会で決定したので諮る。〈承認〉

・前回の理事会で、長川正良氏は日本診療放射線技師会を退会しているが、福島県診療放射線技師会は継続しているため27年度の功労賞表彰者としてすることになっていたのが議事録から抜けていた。協議の結果、27年度功労表彰を授与することが承認された。

2. 協議事項

平成27年度事業計画立案について

年度計画になかったものは、事業費の支出も予算化されていないので科目流用などの措置が必要になる。27年度は年度事業計画をキチンと立てたものにたいして予算化するようにしたいので協力をお願いする。

・高額備品等の購入計画、各地区・委員会等の計画、予算要求は、1月末までに提出をお願いする。

2月の総務企画委員会でそれらを踏まえて来年度の事業計画案・予算案を策定する。

・来年度の調査委員会の事業では、福島県内の放射線技師の実態調査を行って貰いたいので検討をお願い

する。

・県からの助成事業である成人病検診従事者講習会は、従来本会の消化器撮影と医師会の内視鏡研修事業に交互に補助されていたが、医師会の内視鏡研修事業が降りたので毎年補助されることになった。スポンサーが付いた場合でも振り分けて2時間程度の研修を行えば補助するとの県からの回答である。胃がん検診のみが該当する。補助事業の進め方については消化器研究会に一任する。

・平成27年度の事業計画案・予算案については3月13日の理事会までに総務企画委員会でまとめて、理事会で承認を得て、3月末までに県に提出できるように進める。(定款では総会の承認も受けなければならないようになっていない。)

・業務拡大に伴う統一講習会の開催計画について(堀江生涯教育委員長)

各県に年度内2回の講習会開催依頼がある。その内の1回を統一講習会にしたい。

2月7日に教育委員幹事会が日本診療放射線技師会事務所会議室である。業務拡大に伴う統一講習会の開催について、講習会講師の養成等について説明があるので、その後情報を流す。

平成24年度会費未納者の対応について

日本放射線技師会の除籍者の福島県診療放射線技師会の継続について確認した。(除籍者については総会で承認を得なければならない)

・平成27年度からの会費徴収について

平成27年度4月からの日本診療放射線技師会合算請求者以外の県技師会員は福島県診療放射線技師会で請求、徴収するようになる。納入率を上げるためにコンビニ納入サービスを導入することを検討することが承認された。

東北地域放射線技師負担金の増額について

別紙資料で説明意見として、

・今回の会費値上げは目的が決まっています。それに対する援助のための値上げであるととらえられる。今後継続的に事業を展開していくのであれば、値上げもやぶさかではないが、今まで日放技の事業は継続しないものも少なくないので、見通しがたないのであればその都度の事業に対する補助で対応してもらいたい。

・配布資料では14万程度の繰越金があり、来年度も19万円程度の繰り越しになるようだ。単年度で6万円程度のマイナスになるので、値上げの検討も必要と思われるが、200円から400円に値上げするのに裏づけが少なすぎる。

- ・日放技からの助成が一回の会議費として19万程度なのに会議費で年間69万円支出しているのはやり方を見直す必要もあるのではないかと。
- ・明細では一回の会議費の費用が20数万で、2回でも50万円位なのに69万支出されている。差額がなにに使われているか不明(資料不足)。単年度不足分と女性サミット関連活動が事業として妥当かどうかの検討し、その上で必要な経費を踏まえた上で負担金値上げの是非を検討してもらいたい。
- ・負担形式として、放射線医療技術学術大会のような方式で支出した方が事業費支出になり出しやすいのではないかと。

協議の結果、福島県診療放射線技師会の提案は、

事業は南三県で持ち回り実施とし、イベント等の開催にはそれなりの経費も必要であり、事業に対する援助も必要であると考え、今後永続的な事業展開が不透明である事などから、経費負担に関しては毎年の負担金の値上げではなく、単年度ごとに計画を立て、かかる経費はその都度各県の会員数に応じた負担金とすることを提案することとした。管理費では無く、公益法人事業費として支出しないと事業比率で厳しくなる。<提案内容を承認>

東北地区女性技師WG委員会について

別紙資料にて報告(平井理事)

11月30日に仙台でWG会議が開かれ、西ノ内病院の齋藤さんと郡司さんが出席してきた。来年度東北南三県合同事業として、山形県で乳房撮影についての一般公開講座の開催事業を計画している。以前の理事会で協議されたポスター作成については一時保留となっているが、事業を展開して行くには同じくらいの補助金は必要と思われる。事業の実施は、東北地域放射線技師会負担金値上げと関連するので、上記の項目と同時に協議する。

平成27、28年度日本診療放射線技師会代議員の選出について(別紙資料)

任期が今年度で満了になる日本診療放射線技師会代議候補者について、理事会の推薦として遊佐 烈、新里昌一、齋藤康雄とし、補欠候補者阿部郁明とすることが承認された。立候補届出は平成27年1月1日~31日、定員を超えた立候補者がいた場合の選挙は3月に実施される。その場合の投票所は福島県立医科大学附属病院とすることとした。

3. 報告

東北地域会長・教育委員会議報告(10月24日)(別紙報告書)

会長より報告

原子力防災住民避難訓練報告・遊佐副会長報告
11/20星総合でスクリーニングの演習を行った。

(参加者 17名)

11/22住民非難訓練を実施福島県診療放射線技師会会員は、田村市都路町古道小学校、古道体育館、郡山市安積町 安積公民館体育館で避難者のスクリーニング訓練に参加した。(県技師会会員23名参加)

・緊急被ばく医療連絡体制で、各地区委員長までは連絡網の一斉メール配信で通報するので、その先の各地区でのスクリーニング要員の招集、チーム編成は各地区委員長が方法を考えて対応して貰いたい。

日本診療放射線技師会 畦元理事との意見交換会について

・本日の理事会後に開催することで調整していたが、調整がつかず、次回の理事会平成27年3月13日の理事会の後に開催することで、再度調整することとした。

平成26年度福島県民医療推進協議会総会出席について
福島県医師会館 12月12日開催、齋藤会長

新里副会長出席予定 別紙 決議文案

福島県保健医療従事者養成に係る有識者会議について

平成25年度に開催された保健医療従事者の確保に関する検討委員会からの報告を受けて、養成施設を増やすことも増員の1つの方法であるということがあげられていることから、養成施設を整備することに取り組むために検討会議を設立し本格的に動き出すことになった。齋藤会長にその会議のメンバーになって貰いたいとの要請があり、受けた。診療放射線技師、作業療法士、理学療法士、歯科衛生士等を養成する施設を作るための検討を行う。12月から1回のペースで会議を進めて、平成27年7月までにまとめる。

[講習会のお知らせ]

基礎講習 (MRI) 福島

日時：平成27年2月15日(日)

会場：星総合病院附属ポラリス保健看護学院

8 : 30 ~ 8 : 50	受 付
9 : 00 ~ 9 : 45	M R I 装 置
9 : 50 ~ 10 : 30	基 礎 原 理
10 : 30 ~ 11 : 15	撮 像 技 術 1
11 : 15 ~ 12 : 00	撮 像 技 術 2
13 : 00 ~ 13 : 45	撮 像 技 術 3
13 : 45 ~ 14 : 30	撮 像 技 術 4
14 : 30 ~ 15 : 15	画 像 処 理 ・ 性 能 評 価
15 : 15 ~ 16 : 00	安 全 管 理
16 : 10 ~ 16 : 40	確 認 試 験
16 : 50 ~	修 了 式

[お申込み]

JART情報システム
<http://www.jart.jp/>

受講料：会 員 3000円

非会員 10000円

登録締切：平成27年2月10日

地 区 だ よ り

県 南 地 区

毎年恒例の県南地区「新年勉強会」と「新年情報交換会」を平成27年1月31日(土)に開催いたします。「新年勉強会」は下記にて開催いたしますので、会員諸兄のご参加お待ちしております。

「新年情報交換会」の開催案内は、地区会員の皆さまへ郵送いたします。こちらへの参加もお待ちしています。

本年も、皆さまのご多幸をお祈りいたします。(白石)

「県南地区新年勉強会について」

開催日 : 平成27年1月31日(土曜日)
 時 間 : 14時30分～18時
 場 所 : ピックアイ 7階
 受 付 : 14:30～15:00
 教育講演 (15:00～15:30)
 「AeroDRと最新トピックス」
 講師：コニカミノルタヘルスケア株式会社
 教育講演 (15:30～16:00)
 「DR CALNEO flexと最新トピックス」
 講師：富士フィルムメディカル株式会社
 会員研究発表 (16:30～17:30)

相 双 地 区

「お 知 ら せ」

浜通り地区協議会の平成26年度相双地区画像勉強会及び懇親会を次の日程で行います。

日時 平成27年1月21日(水) 18:45より

場所 ロイヤルホテル丸屋(南相馬市原町区)

勉強会終了後に懇親会を開催しますので会員皆様のご参加をお待ちしています。(大井)

い わ き 地 区

「お 知 ら せ」

「第24回いわき地区画像研究会」開催を予定

日時 平成27年1月16日

場所 グランパーク エクセルいわき

演題 「SIMENS RSNA 2014 Flash Report」

勉強会終了後、新年会を開催いたしますのであわせてご参加ください。(菅原)

メールマガジン登録方法の案内

福島県診療放射線技師会のメールマガジン配信を希望する方は、

fart@star7.jp

に空メール(件名・本文なし)を送信してください。登録完了メールが届きます。以上で登録完了です。

メールマガジンでは、分科会、勉強会、学術講演会、地区行事開催案内等のお知らせ、また、緊急に会員の皆さんにお知らせする内容等について配信いたします。

編 集 後 記

新年明けましておめでとうございます。

東日本大震災から間もなく丸4年になろうとしています。まだまだ、復興には厳しい現状ですが今年1年が良い年でありますよう願います。(菅原)

県南(責)	白石嘉博	星総合病院
県北	池田正光	福島県立医大
県南	本間 妙	総合南東北病院
会津	森谷辰裕	会津中央病院
浜通	大井和広	小野田病院
浜通	菅原正志	福島労災病院